

第2510地区 第11グループ



2006~2007

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2006~07年度
国際ロータリーのテーマ

率先しよう



2006~07年度
国際ロータリー会長

ウィリアム B. ボイド

柴崎 晃 会長 テーマ

—— 今、出来る事から始めよう ——



2月28日卓話 梶 智人氏

《第2096回例会》 第33号 3月7日(水)

本日のプログラム

卓話「今時景気局面の特徴と企業経営について」

日本銀行函館支店 支店長 服部 誠弘 氏

★会 長 柴 崎 晃 ★幹 事 山 下 清 司

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 二チロビル4F TEL23-3870

◆PET/CT検査の健康保険適用について

健康保険が適用されるのは特定の疾患について、一定の条件を満たす場合にのみ、保険の適用が認められています。また保険適用の条件として、必ずかかりつけの主治医の先生から当院宛ての紹介状(診療情報提供書)の交付が必要となります。保険適用を希望される場合には必ずかかりつけの主治医の先生にご相談ください。

保険適用範囲外の疾患の場合には、検査費用を全額自己負担していただく自由診療の扱いとなりますが、詳しくはかかりつけ医または当センターまでご相談ください。下に平成18年度からの保険適用疾患を記載しました。最新の保険適用疾患については当センターまでご紹介ください。

【保険適用疾患について】

- ①肺癌 ②乳癌 ③大腸癌 ④頭頸部癌 ⑤悪性リンパ腫 ⑥悪性黒色腫瘍 ⑦脳腫瘍 ⑧膵癌疑い
⑨転移性肝癌 ⑩原発不明癌 ⑪婦人科系の癌 ⑫食道癌 ⑬てんかん ⑭虚血性心疾患

※上記疾患は平成18年診療報酬改訂後のものです。疾患別に更に詳細な条件が設定されています。

(会報担当者：阿部 誠太 委員)

小笠原商事(店舗賃貸)

代表 小笠原 孝

〒042-0915 函館市西旭岡1丁目3-8

TEL(0138) 50-3116 FAX(0138) 50-3146

(広告掲載：小笠原 孝 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

◎2月17日出席報告

会 員	31名	出席率対象会員	30名
		出席規定免除会員	1名
		出席率規定免除会員	0名
当日出席	22名	当日欠席	1名
他クラブ出席	7名	出席合計	29名
出席率	96.67%		

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話26-3170番

次回・3月14日
プログラム

「台北東北R.C.25周年記念訪問報告」

柴崎 晃 会長、増田定雄 友好クラブ委員長

2月28日の記録

◎司 会 柴崎 晃 会長 ◎斉 唱 我等の生業、四つのテスト

◎ゲ ス ト 函館五稜郭病院PETセンター センター長 梶 智人 氏

◎ビ ジ タ ー 函館亀田R.C. 豊田千春君

◎会長報告 柴崎 晃 会長

○例会終了後、歴代会長会を開催致します。

◎幹事報告 山下 清司 幹事

○千葉港R.C.から会報が届いています。会員数26名で頑張っています。

◎親睦活動委員会 弗田 和則 委員

ニコニコBOX投入報告

柴崎 会長……ロータリーを楽しく。

山下 幹事……五稜郭病院PETセンター 梶 智人様 卓話よろしくお願ひします。

森 会員……BOXに協力。

泉 会員……月末です。

佐々木会員…… ”

弗田 会員…… ”

小笠原会員……BOXに協力。

紫前 会員…… ”

増山 会員……2月決算で本日はたいへんです。

千葉 会員……間に合って出席出来ました。

◎卓話「最新鋭のがん検査装置PET-CTについて」

函館五稜郭病院PETセンター センター長 梶 智人 氏

〈プロフィール〉

- H 8. 3 北海道大学医学部卒業
- H 9. 4~ 北海道大学病院核医学診療科
- H 10. 4~12. 6 帯広厚生病院放射線科
- H 12. 4~16. 3 北海道大学大学院医学研究科
- H 15. 6~ 北斗病院放射線科(PETセンター)
- H 17. 4~ 北海道大学病院核医学診療科
- H 17. 12~ L S I 札幌クリニック放射線科
- H 18. 10~ 函館五稜郭病院PETセンター センター長

〈所属学会〉

日本医学放射線学会 日本核医学会

〈資 格〉

核医学認定医 PET核医学専門医 医学博士

◆PET/CT検査の仕組み

がん細胞は正常な細胞よりも、とても多くのブドウ糖を細胞内に取り込んで消費します。このがん細胞の性質を利用して、ブドウ糖に放射性同位元素を結合させたくすり(FDG)を体内に投与すると、がんの病巣にたくさんのくすりが集まります。この体内で起きている様子をPET/CTで身体の外から撮影すると、がんがどこにあるのか(存在の有無)、その大きさはどのくらいか(病巣の大きさ)が正確にわかります。PET/CT検査で正確な診断ができると、治療法や治療範囲を決めるのに大変役立ちます。

◆PET/CT検査の優れているところ

【がんの早期発見】

従来の検査では見つけにくいとされていたがんも、早期に発見が可能です。

【全身検査】

1回の検査で全身(通常の撮影では頭から太腿の付け根まで)の状態を診ることができます。

【転移・再発有無の確認】

全身検査なので他の部位への転移や再発の発見が可能です。

【良性・悪性の鑑別】

病巣の良性・悪性の鑑別が検査画像で鑑別可能です。

【治療効果の判定】

がんの化学療法や放射線治療の効果の判定が、従来の検査(MRI・CT等)より早期に可能となります。

【苦痛の少ない検査】

寝ているだけ。撮影時間は20分～30分程度です。痛みは検査薬剤を注入するときの注射程度です。

【PETからPET/CTへ】

PET/CTは従来のPET検査では検出しにくかったがんを正確に診断し、がんの診断精度を飛躍的に向上させた検査です。

◆手遅れになる前にPET/CTでがんの早期発見

がんはその大きさが1cmくらいまでは比較的完治しやすいといわれています。従来のMRIやCTは1cm程度からのがんを発見することが可能とされているのに対し、PET/CTでは絶対ではありませんが、既存の検査と合わせた検査の実施により5mm程度のがんの発見も可能です。PET/CT検査はがんを早期に発見し、完治の可能性を高めます。

◆PET/CTは他の検査との併用でさらに診断制度をUP

PET/CT検査でも顕微鏡レベルの小さながんの検出は困難です。また、すべてのがんがPET/CT検査のみで早期発見できるわけではありません。検査薬や検査の特質上、見つけられないがんがあります。PET/CT検査にも得意、不得意があるのです。そのためPET/CT検査に合わせて、これまでの超音波検査、CT検査、内視鏡検査やその他の検査と併用することが必要となります。

PET/CT検査が得意とするがん	
●頭頸部癌	●肺癌
●乳癌	●脾臓癌
●結腸癌	●直腸癌
●悪性リンパ腫	●悪性黒色腫など

PET/CT検査が不得意とするがん	
●胃癌	●腎癌
●尿管癌	●膀胱癌
●肝細胞癌	●胆道癌
●前立腺癌	●白血病など

※これらのがんが原発巣の場合、その診断は難しくなりますが、転移・再発に関しては有効な場合もあります。

◆PET/CTは負担が少なく安全性の高い検査です

PET/CT検査はわずかですが放射線被ばくがあります。例えば放射性同位元素のついたFDGというくすりを注射してPET検査を1回受けると、およそ2.2mSv(ミリシーベルト)になります。これは人が地球上で普通に暮らしていて、自然から受ける1年間の平均的な被ばく線量である2.4mSvと同じ量です。同時にCT撮影をすると、被ばくが約3～20mSv加わりますが、副作用はほとんどありません。